



報道関係者各位

2024年3月7日
栃木県栃木市
株式会社マーケットエンタープライズ

栃木市が廃棄物の増加する引越しシーズンを前に 不要品リユース事業で「おいくら」と連携を開始 ～新施策導入によるリユース意識醸成へ～

栃木県栃木市(市長:大川 秀子)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、2024年3月7日(木)より、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、栃木市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



■背景・経緯

栃木市では、とちぎクリーンプラザに集められた家具や自転車などの中から、まだ利用できるものを選び、修繕後に再生品として市民へ安価で提供する再生品の展示販売など、リユース推進のために取組んでまいりました。しかしながら、市民の中には、「不要品は捨てるもので売ることができない」という認識を持っている方も少なくなく、市ではさらなるリユース促進につながる施策導入の可能性を模索しておりました。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心にネット型事業を展開し、これまで、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動を続けるなど、官民の垣根を超えた SDGs への取組に注力してまいりました。

そうした中で、マーケットエンタープライズが栃木市に働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1 を用いた今回の取組が実現いたしました。

※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができます。一度の依頼だけで不要品の買取価格をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ 110 万人(2023 年 10 月末日)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト:<https://oikura.jp/>

■栃木市の課題と「おいくら」による解決策

栃木市では、粗大ごみの戸別収集を行なっておりますが、大型のものや重量のあるものでも、原則、市民が自力で運び出す必要があります。また、戸別収集を利用する場合には、事前の予約を必要としているため、申し込みから収集までに 1 ヶ月から 1 ヶ月半の時間を要しておりました。そのため、これまで市には、「自宅の中から不要品を運び出して欲しい」「もっと早く粗大ごみの収集をして欲しい」などの市民の声が寄せられていました。「おいくら」は、希望すれば自宅の中まで訪問し対応する出張買取が可能で、大型品や重量のあるものでも売却が容易にできるようになります。加えて、まだ利用できるものであれば、市では回収を行っていない冷蔵庫や洗濯機などの家電リサイクル法対象製品も対象で、不要品売却と受け渡しは、最短だと「おいくら」を通じて買取依頼をした当日に可能となります。なお、市民のサービス利用に関する費用負担はもちろん、栃木市の費用負担もありません。

■今後について

3 月 7 日(木)15 時(公開時間が前後する可能性があります)より、栃木市ホームページ内(<https://www.city.tochigi.lg.jp/soshiki/102/68621.html>)に「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。栃木市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量や処理コスト削減にもつながります。また、本取組によって、売却という形で簡単に不要品リユースができることを市民が認知することで、「廃棄ではなく、リユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民のリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組によって、循環型社会の形成に向けた社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

■栃木県栃木市

栃木市は、栃木県南部に位置し、鉄道や高速道路で東京からは約 60 分の距離に位置しております。東北自動車道と北関東自動車道に加え、東部鉄道と JR 両毛線が市内を縦横に走り、4ヶ所のインターチェンジと 12 駅を有するなど、交通至便な都市です。喜多川歌麿ゆかりの地でもあり、現在も蔵造りの建物を中心とする歴史的な街並みが残されており、歴史的風情や伝統文化を生かしたまちづくりを進めています。加えて、ラムサール条約登録湿地である渡良瀬遊水地や三轟山・岩舟山・太平山の連なる里山を有し、これら県南のシンボリックな自然環境は、観光やレジャー、スポーツの面でも多くの方々を魅了しております。

人口:154,294 人(男 77,209 人、女 77,085 人) (2024 年 1 月 31 日)

世帯数:67,292 世帯(2024 年 1 月 31 日)

面積:331.50 平方キロメートル

ウェブサイト: <https://www.city.tochigi.lg.jp/>

■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006 年の設立以来、成長を続けています。2015 年 6 月には東証マザーズに上場。2021 年 2 月に東証一部へ市場変更の後、2022 年 4 月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80 か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ 710 万人を達成しました。栃木市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で 110 にのぼります。

「おいくら」自治体向け ウェブサイト: <https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト: <https://www.marketenterprise.co.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

栃木市に関すること

栃木市 生活環境部 クリーン推進課 ごみ減量係

担当:川津

Tel:0282-31-2447 Mail:clean01@city.tochigi.lg.jp

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ

PR 担当:立花

Tel:03-6675-3923 Mail:pr@marketenterprise.co.jp